

特ラ機構レポート

No.185

令和4年3月1日

令和3年度 第4回 理事会 報告	2
運用連絡と調整の総件数	8
新規加入会員紹介コーナー	11
イベント情報	14
地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた 電波発射について ..	15
ちょっとブレイク	16
第22回 特ラ機構 技術賞募集の案内	18
事務局 便り	19



[理事会報告] 令和3年度 第4回理事会

1. 日 時 令和4年2月2日(水) 15 時 ～ 17 時
2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22 名)
- 出 席 [理事長] 渡邊邦男
- [理 事] 石橋 透, 小野良行, 小俣公洋, 北口紀雄, 小林 敬, 小間新五,
瀬谷正夫, 永谷俊之, 西澤勝之, 則行正信
- [監 事] 伊藤 博, 國枝義久
- 委任出席 [理 事] 池上行大, 岩井佳明, 上田好生, 金光浩昭, 鈴木久利, 萩原桂吾,
本間俊哉, 右田研介, 吉田廣嗣

3. 令和3年度 第4回理事会

理事長開催挨拶

本日はまん延防止重点措置のなか、お集まりくださりまして有難うございます。今年初めての開催です。よろしくお願いいたします。

前回の理事会でオミクロン株の話が出ましたが、またたく間に感染が広がり、第6波になってしまいました。今のところ重症になる確率は低いと言われていますが、感染力が強いため、今後重症者数も増加するのではないかとの見方もあるようです。

音響業界では感染防止の対策をしっかりと実施しているのですが、日常生活のなかで出演者やスタッフに濃厚接触者や陽性者が出て、公演等が中止、延期になったという報告も受けています。長い戦いですが、個々も最後まで気を緩めずにやっていかなければいけません。

一日も早く安心して集える状況になり、故八幡名誉会長のお別れ会や総会関連の行事が滞りなく開催できることを願っています。

上記の挨拶があり、議題に入った。

4. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料：8 頁 ～ 10 頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

令和3年 12 月1日から令和4年1月 31 日の期間に賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和4年度技術賞について、令和3年11月1日(月) から募集をおこなっている。今後の流れとしては、令和4年3月末に応募の締切り、4月から5月にかけて選考、6月の総会時に表彰式をおこなう予定となっている。

告知については、次号の特ラ機構レポートに案内を掲載し、別途チラシを同封する。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第89回編集委員会は、令和4年1月14日(金) に当機構事務局にて開催した。出席者は4名。184号を振り返って反省点等を確認した他、185号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

特ラ機構レポート184号は、令和3年12月28日(火) に発送済。185号は令和4年2月下旬に発送予定となっている。内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、技術賞募集記事などを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

オミクロン株などの影響もあり、例年おこなっている本省移動通信課への新年のご挨拶は差し控えた。

② 各総合通信局関連

令和4年1月7日(金)、総務省関東総合通信局ならびに近畿総合通信局、東海総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。本件、新規件名は令和4年1月27日(木) に運用調整システムへ登録を完了した。

その他、再免許に関連して申請漏れ等がないよう、各地の総合通信局へ照会・確認作業等をおこなった。

③ ARIB関連

令和4年2月1日(火)、ミリ波素材伝送タスクグループの Web 会議が開催されたが、業務多忙により甲田テクニカルチーフは欠席した。

(4) TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

① 統合 DB 作業班

令和3年12月22日(水)、運用調整システムにて使用している地図情報のアップデートに合わせ、リンク情報システムの担当者へ、今年度下期改修に関する当機構要望一覧の内容について説明をおこなった。

② 幹事会

今期、幹事会は開催されなかった。なお、次回幹事会の予定は令和4年3月18日(金)となっている。

③ WS協議会負担金の支払い状況

令和3年度第3四半期のWS協議会負担金(新規分の登録費・運用調整費)については集計を終えており、近々にWS協議会側と確認作業をおこなう予定となっている。

(5) 情報通信月間協議会報告

令和3年12月16日(木)、同協議会事務局から「2022年度 情報通信月間」のテーマについて、応募のあった複数案に対する評価依頼があり、これに対して回答した。これらの集計結果を基に、下記のとおりテーマが決定した。

2022年度情報通信月間テーマ

“デジタル変革で創ろう 変えよう 暮らしと社会”

その他、令和4年1月14日(金)、同協議会事務局から会計監査に関する報告書一式のメール送付を受けた。また、令和4年1月21日(金)には「2022年情報通信月間」行事について、メールにて連絡があった。

(6) 令和3年度の再免許手続きの進捗状況

令和3年度の再免許（免許更新）手続きについて、当機構扱いの大部分は総務省各総合通信局への申請を完了している。なお、再免許後の免許状は令和4年5月頃に交付される見込みで、交付後、当機構にて記録した後に各会員へ送付する予定となっている。

(7) 2025 大阪・関西万博

令和3年12月21日(火)、公益社団法人日本国際博覧会協会事務局を甲田テクニカルチーフが訪問した。万博会場でのラジオマイクの運用に関して、会場に隣接するメガソーラー基地からの高周波等の影響や、地上デジタル放送波との関係などに対する事前環境調査の重要性、イベント広場や大催事場などに於ける電波を遮る遮蔽損値などの重要性について訴えた。

(8) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

令和4年1～3月の各地域における実験スケジュールについて、特ラ機構のホームページおよびTwitterにて告知をおこなった。4月以降の実験についてもスケジュールが確定し次第、告知していく。

(9) 短信、その他

① ホームページ更新

今期分の各種お知らせやチャンネルリスト検索システム等の定期更新をおこなった。

② メールサーバーの障害対応

令和4年1月8日(土)12時から24時頃にかけて、メールサーバーに障害が発生したため、事務局のメールがすべて送受信不能になるという事象が起きた。ホームページおよびTwitterにて、緊急の運用連絡票はFAXで送信してもらうよう告知をした。

障害発生中に会員から送信されたメールに関しては復旧後に受信を確認できたが、会員からの報告で一部送信エラーとなったものがあることが判明したため、再度ホームページおよびTwitterにて、送信エラーとなったものは再送してもらうよう告知をおこなった。

③ チャンネルリストの追加

大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス, アルカンシエル Luxe marriage 大阪,

GLA 総合本部本館，GLA 中京会館，GLA 八ヶ岳いのちの里（計5施設）

⇒ 以上の報告事項について、出席理事全員の承認があった。

5. 【審議事項】

（1）会員の入退会 令和3年12月～令和4年1月分

【入 会】

東 北：株式会社でんき倶楽部

関 東：株式会社 Yostar（Yostar 秋葉原スタジオ），
株式会社フラットステージ（パルテノン多摩），
公益財団法人市川市文化振興財団（市川市文化会館），内林 優樹，
株式会社アットサウンドカンパニー（GRIT at SHIBUYA），株式会社プレート，
株式会社日研総合通信（くすのきホール），桑原 知之，株式会社ばばや，
株式会社 GSTV（GSTV サテライト スタジオ）

東 海：土岐市（土岐市文化プラザ），学校法人電波学園（名古屋工学院専門学校）

近 畿：公益財団法人神戸市産業振興財団（ハーバーホール），株式会社 ytv Nextry

中 国： 国立大学法人広島大学（広島大学サタケメモリアルホール）

四 国：一般財団法人阪大微生物病研究会（阪大微生物病研究会 観音寺研究所 瀬戸センター）

【退 会】

関 東：清水 吉郎

近 畿：姫路市（姫路市文化センター）

※第1回理事会にて退会報告した「株式会社アルカンシエル（アルカンシエルベリテ大阪）」
については休会扱いとなった（令和4年3月末に休会終了の予定）

（2）会員数

令和4年1月末現在 1,495 会員

（3）無線局数

令和4年1月末現在 46,708 局

〈内 訳〉

① 470～714MHz 帯

ラジオマイク 34,883 局

イヤーマニター 2,514 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 9,311 局

合 計 46,708 局

（4）「JPPA AWARDS 2022」援助金について

一般社団法人日本ポストプロダクションより「JPPA AWARDS 2022」開催に際する援助金協力願いが届き、毎年賛同しておこなっている協力金をお渡しした。

当該法人からは、協力金へのお礼状と領収証が届き確認した。

(5) 令和4～5年度役員改選について

令和4年度は役員の改選期であることから、下記のとおり「令和3年度 理事・監事候補者推薦委員会」を開催した。

開催日時 令和4年1月11日(火) 15:00～17:00
場 所 (一社)特定ラジオマイク運用調整機構 事務局
出席者 委員長:渡邊邦男
委 員:鈴木久利、則行正信、木村和子、石川来夢
議 題 ① 理事・監事改選期及び各委員会人事についての具体案
② 新理事推薦の検討

[決議した事項]

- ・ 現況の理事・監事に次期も担って頂く。
- ・ 第4回理事会(2月)で現況名簿を確認して頂き、推薦候補者を募る。
- ・ 様々な地域からのご意見を頂けるよう、北海道～東北1名、九州～沖縄1名など、現在、席の無い地域から選出してもらう。
※遠距離の理事のためにハイブリッド会議も考慮したい。
- ・ 次回理事会に諮るまでに、委員としても候補者に具体的に話をする。

以上のとおりに審議と決議がおこなわれた。

又、運営の在り方として委員会構成についても意見が交わされた。

※上記の役員改選について、現況の理事・監事の再任に反対は無かったが、新理事を加えるという議題に対する最終審議は次回理事会(令和4年4月13日(水))に決議決定をする事になった。

地域的な新理事候補を筆頭に、新理事候補の推薦を理事・監事に依頼した。

(6) 令和4年度新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛による会員への影響支援

令和2・3年度に施行した下記の支援について

- ① 令和4年度の年会費・運用調整費を減額する。
- ② 令和4年度の年会費・運用調整費の納入期日を延長する。
7月末日を納入期限としてきたが、令和2・3年度と同様に令和4年10月31日(月)まで延長する。
- ③ 納入額の分割納付 → 9・10・11月の3ヶ月で分割納付を可能とする。
9・10月を0円、全額11月納入は認められない。

※令和4年度の会員支援については①②③に対して異論はなかった。

①の年会費・運用調整費減額について1ヶ月分及び1.5ヶ月分の減額計算表を配布し検討した。

令和4年度年会費・運用調整費（1/25 現在の加入数・局数による）

年会費予定額	71,760,000 円
運用調整費予定額	65,734,200 円
計	137,494,200 円

1 ヶ月分を減額した場合

年会費支援額	5,980,000 円	年会費予定額	65,780,000 円
運用調整費支援額	5,477,850 円	運用調整費予定額	60,256,350 円
支援額計	11,457,850 円	計	126,036,350 円

1.5 ヶ月分を減額した場合

年会費支援額	8,970,000 円	年会費予定額	62,790,000 円
運用調整費支援額	8,208,743 円	運用調整費予定額	57,525,457 円
支援額計	17,178,743 円	計	120,315,457 円

上記減額について次の意見が出された。

- ・コロナ禍も3年目に入り、業界は先が見えず、仕事（収入）も大変なので昨年度と同じ1.5 ヶ月分の減額を支援したい。

※減額を検討するにあたり、機構事務局のシステムの老朽化が進み、令和4年度に再構築を予定している事、サーバーの交換が必要で予算計上が必要な事を鑑みて、次回理事会（令和4年4月13日(水)）に改めて審議結審する事とした。

⇒ 以上の審議事項について、出席理事全員の承認があった。

次回理事会（予定）

日 時 ： 令和4年4月13日(水) 15:00～17:00

場 所 ： 中野サンプラザ 6階 フラワールーム

ちょっとブレイク原稿大募集！

2012年3月1号からスタートいたしました「ちょっとブレイク」コーナーも皆様に支えられ早10年、本当に沢山の方に楽しい記事を書いていただきました。心より感謝申し上げます。

引き続き皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。お名前を出したくない場合はペンネームでもOKです。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



運用連絡と調整の総件数

2021年12月～2022年1月

理事会資料 R4-4-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数

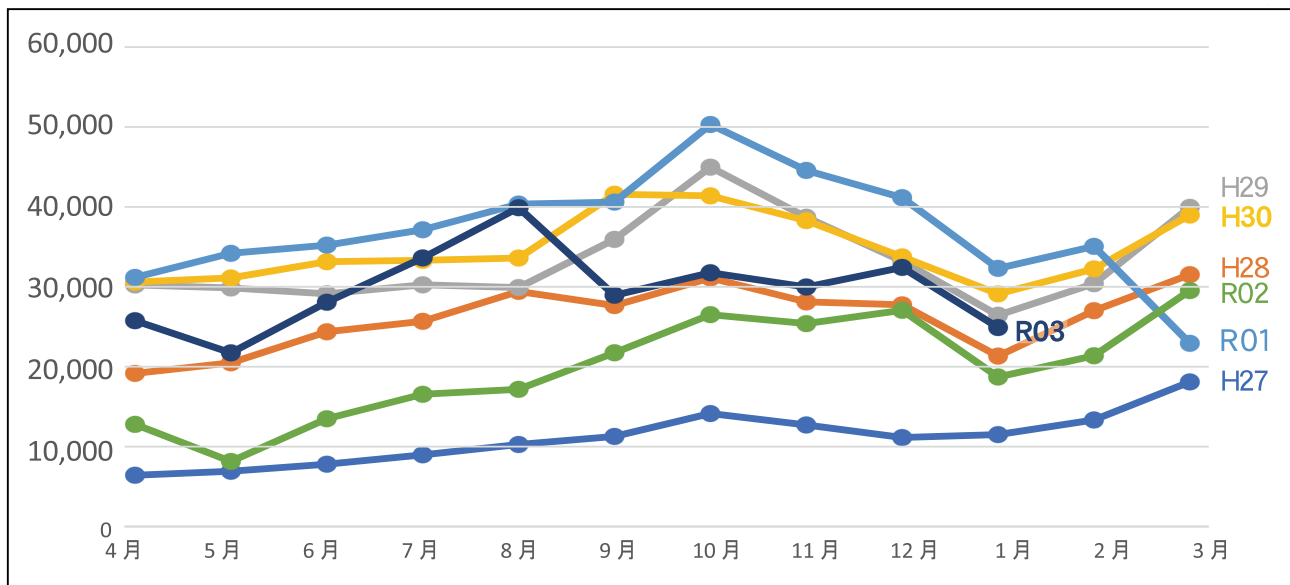
各年度 月別運用連絡・調整総件数表

※ 2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898				

前年との差 +12,973 +13,588 +14,582 +17,066 +22,732 +7,199 +5,427 +4,583 +5,360 +6,187

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



(1) 2ヶ月間の総件数を比較

	2021年10月～11月	12月～1月
前年	51,898	45,770
当年	61,728	57,317
増減	+9,830	+11,547

(2) 1ヶ月間の受信数を比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年1月
前年	5,875	3,996	7,038	8,769	8,766	10,791	12,634	12,475	12,324	8,896
当年	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594	14,292	10,771
増減	+6,243	+6,400	+5,891	+5,589	+3,827	+769	+2,100	+2,119	+1,968	+1875

2. 前年（2020年12月～1月）と当期（2021年12月～1月） 運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

2021年11月に南アフリカで報告された変異ウイルス「オミクロン株」は、12月に国内で初めての感染が報告された後、1月に4桁を超えると瞬間に第6波に突入し、現在に至っている。感染力の強いオミクロン株による公演中止の報告もあるが、陽性と診断されてから10日目以降に感染力のあるウイルスを拡散する可能性は少ないとの調査報告もあり、今後の適確な対応が待たれる。

このような状況の中、12月～1月（2ヵ月間）の総件数は前年同期と比べ **11,547件の増**となった。

（2）1ヶ月単位での運用連絡受信数と調整送信数を含めた総件数の推移から、

令和3年度12月～1月を振り返る

総件数では、12月の強い上昇を期待したが、前年と比べ12月が5,360件増の32,419件、1月は6,187件増の24,898件という上昇になった。

また、前頁のグラフを見ると12月・1月ともに推移が前年（R2年度）の昇降パターンに類似していることも分かる。

受信数に関しては、前回の理事会で12月は15,900件程度になると予測したが、水際対策などオミクロン株の影響もあり、12月が1,968件増の14,292件、1月は1,875件増の10,771件となった。

今後は、感染力や重症化率など変異株の特性を見極めた上での速やかな国の対応と、ワクチン接種率や接種証明などの活用も期待しつつ、一日も早いコロナの終息を願うばかりだ。

（3）受信・送信2ヶ月間の比較（受信数に対する送信数の比率について）

(3) 受信・送信 2ヶ月間の比較					
前々年2019年度(12月～1月)		前年2020年度(12月～1月)		当期2021年度(12月～1月)	
受信数	29,169	受信数	21,220	受信数	25,063
送信数	44,285	送信数	24,550	送信数	32,254
計	73,454	計	45,770	計	57,317
比率(送信/受信)	1.52	比率(送信/受信)	1.16	比率(送信/受信)	1.29

運用連絡【受信数】を見ると、前年の21,220に対し、当期は25,063に増加した。増加率は1.18倍。

【連絡数に対する調整数の比率】でも、前年の1.16倍から1.29倍に上昇している。

3. 各年度の月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

※2017年度以降のデータは2019.12.02時点で再集計。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
前年との差	-18,392	-26,045	-21,728	-20,593	-23,184	-18,859	-23,795	-19,174	-14,093	-13,591	-13,685	+6,599	-206,540	-17,212

2019年度と2020年度の比較		
	1年間の合計	1ヶ月の平均
R元	444,947	37,079
R2	238,407	19,867
増減	(-206,540)	(-17,212)

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント（令和3年12月～令和4年1月）

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
Jump Festa 2021/THE RAMPAGE 他	12/15 - 12/18	幕張メッセ	10	10	125		15	140
COUNT DOWN JAPAN 2021-2022	12/28 - 12/31	幕張メッセ	14	21	154		34	188
TOKYO AUTO SALON 2022 ※	01/12 - 01/16	幕張メッセ	18	23	88		29	117
技能五輪 /NHK 取材他	11/15 - 11/19	東京ビッグサイト	4	12	54		20	74

※周波数配分を実施したイベント

今回は年末年始におこなわれたイベントを中心に運用報告をまとめました。

「COUNT DOWN JAPAN」を取り上げましたが、4日間の本番で合算して188局の特定ラジオマイクの運用がありました。周波数の調整や配分をおこなう苦労を知っていると、幕張メッセのチャンネルリストについて、もっと丸が増えてもいいように感じました。

・令和3年12月5日(日)～8日(水) 東京ビッグサイト西棟に於いて開催された複合展示会と、令和3年12月8日(水) 南棟でのイベントで運用された1.2GHz帯5社51局の周波数配分をおこなった。

・令和4年1月14日(金)～16日(日) 幕張メッセにておこなわれた「東京オートサロン2022」に於いて、1.2GHz帯7社7ブース、取材3チームの計34局の周波数配分をおこなった。

また、TVWS帯は11社14ブース計83局の周波数配分をおこなったが、各社からの委任状や使用機材に関する情報連絡も早めに頂けたことから、会場への機材搬入前に運用周波数をお知らせする事ができた。

5. 干渉報告

令和3年12月17日(金)、東京芸術劇場（東京都豊島区西池袋1-8-1）ご担当の石丸氏より連絡があった。前日の12月16日(木)の昼頃、同施設内のプレイハウスにてTV41～42chの644MHz周辺3局と、翌17日の同時刻頃、同じ帯域内の1局で「キュルキュル」との強い干渉を受けたとの報告があった。

急ぎ運用調整システムにて、当該施設周辺での他会員の運用を確認したが、該当するような運用は見当たらなかった。

令和3年12月17日(金)、ヴァレンカム株式会社の山田氏より連絡があった。同日11:00頃、鉄鋼ビルディング（東京都千代田区丸の内1-8-2）で運用していた1.2GHz帯Middle（1246.025～1252MHz）の帯域4局にて、干渉が発生したとの報告を受けた。

運用調整システムで周辺環境を確認したが、同帯域を運用する他局は見つからなかった。なお、隣接する他局として、Low（1240MHz～1246MHz）を運用する2会員があったが、運用調整のお願いメールが送信されていた。もし仮に運用連絡と異なる帯域で運用する場合には、他局とのコミュニケーションを取り、安全確認に努めて頂きたい。

新規加入会員紹介コーナー

令和3年12月～令和4年1月

東 北

● 株式会社でんき倶楽部

会員番号 020-0056

代表取締役 中川 勝大

入会：令和3年12月8日

移動

シュア…8局

〒961-0046 福島県白河市土武塚 25

運用担当者 中川 勝大

TEL 0248-22-8900

E メール k.nakagawa@denkikurabu.com

関 東

● 株式会社 Yostar（Yostar 秋葉原スタジオ）

会員番号 030-1087

代表取締役 李 衡達

入会：令和3年12月2日

固定

シュア…4局

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 300

運用担当者 柴田 進

TEL 03-5846-8348

E メール ga@yostar.co.jp

● 株式会社フラットステージ（パルテノン多摩）

会員番号 030-1088

代表取締役 川島 久路

入会：令和3年12月10日

固定

シュア…32局

〒206-0033 東京都多摩市落合2-35

運用担当者 市原 栄助

TEL 042-376-6613

E メール ichi@flatstage.com

● 公益財団法人市川市文化振興財団（市川市文化会館）

会員番号 030-1089

理事長 土橋 靖子

入会：令和3年12月13日

固定

シュア…28局

〒272-0025 千葉県市川市大和田1-1-5

運用担当者 藤川 寿延

TEL 047-379-5111

E メール kanri@ichikawa-bunka.or.jp

● 内林 優樹（ユナイテッド サウンド プロモーション）

会員番号 030-1090

内林 優樹

入会：令和3年12月22日

移動

シュア…1局

〒153-0053 東京都目黒区五本木2-9-20 サンライトコート 103

運用担当者 内林 優樹

TEL 080-1515-2282

E メール yuki0408style@gmail.com

● 株式会社アットサウンドカンパニー（GRIT at SHIBUYA）

会員番号 030-1091

代表取締役 田中 寛之

入会：令和3年12月23日

固定

シュア…4局

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-23-12

運用担当者 田中 寛之

TEL 048-973-7666

E メール wireless@ats-c.co.jp

● 株式会社プレイト

会員番号 030-1092

代表取締役 加納 凌

入会：令和3年 12 月 24 日 移動

シュア…1局

〒 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-4-24 セレニティ原宿 303

運用担当者 天満 弘将

TEL 080-3365-6849 E メール tenma@playyte.com

● 株式会社日研総合通信（くすのきホール）

会員番号 030-1093

代表取締役 長谷川 正利

入会：令和3年 12 月 27 日 固定

シュア…8局

〒 359-0037 埼玉県所沢市くすのき台1-11-2

運用担当者 喜多川 欣哉

TEL 048-441-3406 E メール k.kitagawa@nst1974.com

● 桑原 知之

会員番号 030-1094

桑原 知之

入会：令和4年1月 17 日 移動

パナソニック…1局

〒 182-0012 東京都調布市深大寺東町5-6-11

運用担当者 桑原 知之

TEL 090-3513-0931 E メール kuwahara@wd5.so-net.ne.jp

● 株式会社ばばや

会員番号 030-1095

代表取締役 名取 洋

入会：令和4年1月 18 日 移動

シュア…4局

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-11-1 駿河台サンライズビル B1

運用担当者 近藤 直哉

TEL 03-3222-8288 E メール info@babaya.com

● 株式会社 GSTV（GSTV サテライト スタジオ）

会員番号 030-1096

代表取締役 今橋 徹

入会：令和4年1月 25 日 固定

ソニー…16局

〒 140-0002 東京都品川区東品川2-2-43

運用担当者 蓮尾 駿太

TEL 080-1796-8110 E メール shunta.hasuo@gstv.jp

東 海

● 土岐市（土岐市文化プラザ）

会員番号 060-0148

市長 加藤 淳司

入会：令和3年 12 月2日 固定

シュア…8局

〒 509-5122 岐阜県土岐市土岐津町土岐口 2121-1

運用担当者 各務 栄記

TEL 0572-54-1111 E メール bunspo@city.toki.lg.jp

● 学校法人電波学園（名古屋工学院専門学校）

会員番号 060-0149

理事長 小川 明治

入会：令和3年 12 月 15 日 固定

シュア…16局

〒 456-0031 愛知県名古屋市熱田区神宮4-7-21

運用担当者 富田 正樹

TEL 052-681-1311 E メール masaki.tomita@denpa.jp

近 畿

- 公益財団法人神戸市産業振興財団（ハーバーホール） 会員番号 070-0328
理事長 富山 明男 入会：令和4年1月 12 日 固定 シュア…16 局
〒 650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4
運用担当者 中村 瑞穂 TEL 078-360-3196 E メール nakamura-mizuho@kobe-ipc.or.jp
【ひとこと】 約 400 席のホール会場と、様々なタイプの貸会議室を有しています。
中小企業の方は格安でご利用いただけます。

- 株式会社 ytv Nextry 会員番号 070-0329
代表取締役 六田 明弘 入会：令和4年1月 20 日 移動 ソニー…26 局
〒 540-0001 大阪府大阪市中央区城見1-3-50
運用担当者 高田 哲也 TEL 06-6947-7080 E メール takada.tetsuya@nextry.net

四 国

- 一般財団法人阪大微生物病研究会 会員番号 090-0042
(阪大微生物病研究会 観音寺研究所 瀬戸センター)
理事長 山西 弘一 入会：令和3年 12 月1日 固定 シュア…8局
〒 768-0065 香川県観音寺市瀬戸町4-1-70
運用担当者 上窪 陸 TEL 0875-25-4872 E メール microphone-renraku@mail.biken.or.jp



イベント情報

秋から冬にかけて、若干イベント開催も盛り上がってきていたのですが、感染者数が増える中、イベントも少なくなっております。

運用連絡は正確なデータを、余裕を持ってお送り下さい。（日・祭日を除く2日前までにはご連絡ください。また、大規模な展示会等では運用調整が複雑になるためさらに余裕をもってご連絡ください）

また、中止の際もご連絡を頂けると幸いです。

Anime Japan は昨年同様周波数配分の実施を予定しております。

特定ラジオマイクを利用するブースの担当社の方は1週間前までには運用連絡票の提出をお願い致します。

イベント

日 程	展示会名	会 場
3 月 16 日～ 18 日	第 18 回スマートエネルギー Week 春 ほか	東京ビッグサイト
3 月 15 日～ 16 日	第 1 回大阪・関西万博 開催支援 EXPO	インテックス大阪
3 月 26 日～ 27 日	★ AnimeJapan2022	東京ビッグサイト

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、東京・名古屋・三重・大阪・福岡地区において地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局による電波発射を実施しております。

2022 年 3 月の電波発射スケジュールは下記のとおりです。

各地区の 2022 年 4 月以降の電波発射スケジュールは、決まり次第改めてご連絡いたします。

< 2022 年 3 月のスケジュール >

地 区	電波発射スケジュール[注1]	TV チャンネル	備 考
東 京 [注2]	3 月 1 日 ～ 3 月 11 日	UHF28ch	2/14 から継続で電波発射中
三 重（津）	3 月 9 日 ～ 3 月 25 日	UHF25ch	
福 岡	3 月 1 日 ～ 3 月 31 日	UHF51ch	昨年から継続で電波発射中

[注 1] 電波発射時間は、土日祝を除く平日の 10 時～ 18 時となります。

[注 2] 東京地区の UHF28ch は、テレビホワイトスペースの割当がないため、運用調整は発生いたしません。

なお、名古屋（東山、鍋田）並びに三重（伊勢）、大阪地区については 2022 年 3 月の電波発射は無い予定です。（電波発射スケジュールが追加された場合は、別途運用調整させていただきます。）

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合がありますので、その際はご協力をよろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認くださいませよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ 4 K ・ 8 K 実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

ちょっとブレイク

書籍紹介「素晴らしきビンテージ機材の世界」

特ラ機構 事務局の甲田です。

今回のちょっとブレイクは、わたくしが最近手にした書籍の中で、是非このコーナーでご紹介できたらと感じた一冊です。

また、その中にある逸話などもご紹介できたら……。



表紙

「素晴らしきビンテージ機材の世界」

～レコーディング・スタジオを彩る珠玉の名機たち～

リットーミュージック

著者 三好 敏彦 氏

<https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3120321001/>

「本書はサウンド&レコーディング・マガジン 2011 年 1 月号より 2017 年 3 月号に掲載された

連載記事を加筆・編集したものです。」と巻頭にあるのですが、当時の記事など御覧になった方々も多く居られると思いますが、一冊に纏まったことが録音史を語る上でも、今後大事な資料になるものと感じました。(編集者のご努力に感謝します。)

特に著者である三好氏の古いアナログ機器に対する造詣の深さや、各機器の隅々に至るパーツへの思いが伝わってきます。

勿論、サウンドエンジニアとしての音色に対する表現や、各機器を取り扱う上での注意事項などは、若いエンジニアの方々には大変参考になる点ではないかと思います。

さてその中で私の思い出のマイクロフォンは本書 14 ページ「AKG C12」になりますが、本機はラージ・ダイヤフラムを使用した真空管マイクの名機として有名です。1995 年サンシャイン池袋で行われた「AES 東京コンベンション」に来日された、故ブルース・スエーデン氏が当時私も勤めていた SCJ・AKG ブースを訪れ、技術担当の西村友三郎氏や小林実氏と談笑されたおり、1985 年 USA-AFRICA (We Are The World) のレコーディングで使用されたメインマイクの C12 は、ブルースさんの私物で、クイーンシー・ジョーンズ氏に頼まれて貸し出したとの事。

そのマイクプリアンプの電圧は、勿論 200V ドライブで、真空管のグリッド電圧は通常より 2V 高く、「真空管の寿命は短くなるが、スピード感のある、粒立った、ダイナミックレンジの広い音になる。」などの逸話を紹介してくれました。

思い出のもう一台は本書 56 ページの「Focusrite ISA マイクプリ & EQ」です。

「ニーヴ氏は“採算度外視で最高のクオリティのものを作る”というコンセプトだったため、すぐに財政難に陥ってしまい、1989年にはSOUNDCRAFTの設立者の一人であったフィル・ダドリッジ (Phil Dudderidge) 氏によって買収されます。」(本文引用)

まさに本文にある様な時代、1989年6月当時勤めていたSOUNDCRAFT JAPANより、英国ロンドンで行われたAPRSショーに出張させて頂く事ができました。

その数か月前より、代表であったフィル・ダドリッジ (Phil Dudderidge) 氏が所有するSOUNDCRAFT ELECTRONICSの持ち株を、ハーマンインターナショナルに売却するなどの混沌とした背景のなか、ダドリッジ氏宅で開かれた「APRSショー」の打ち上げガーデンパーティーに招待され、アラン・パーソンズ氏を始め多くの著名なエンジニア達と交流したことは、大きな財産となっています。



資料、招待状

その中でも特に、本誌で多くの名機を紹介されている故ルパート・ニーヴ氏は、オーディオ談義でも「優れたオーディオ回路の特性は、100kHzまでスムーズなければならない！」と熱く語っていたことが、今でも忘れられません。



フィル&ジェニー ダードリッジご夫婦と
アラン・パーソンズ氏とファミリー

本書には、まだAKG C414, AKG C451, BX15,を始め、AMCRON DC / PS / PSA Series, やGML 8200 EQなど私が以前販売に携わった製品もあり、思いは尽きません。

因みに、AKG BXシリーズの設計者であるワイン・ガードナー氏はコネクターメーカーのNEUTRIK社の創業者です。



A ルパート・ニーヴ氏を囲んで

さいごにこの時期、皆様方の機材倉庫の棚卸を兼ねて、お宝探しをされてみては、いかがでしょうか？

最近のホールやスタジオでは以前に比べて、200Vの電源が準備されているところが増えましたので、アースの取り方に注意して頂きながら、実験されることをお勧めします。

(事務局 甲田 乃次)

令和 4 年 第 22 回 特定ラジオマイク運用調整機構 技術賞 募集 締め切り迫る！

令和 4 年「特ラ機構 技術賞」の締め切りが迫ってまいりました。
締め切りは、令和 4 年 3 月 31 日です。お早めにご応募ください。
下記の募集要項に従い多数の応募をお待ちしております。

令和 4 年 第 22 回 特定ラジオマイク運用調整機構 技術賞

後 援：一般社団法人日本ポストプロダクション協会 協同組合日本映画・テレビ録音協会
公益社団法人日本舞台音響家協会 日本舞台音響事業協同組合（順不同）

1. 選定の対象と種類

令和 3 年 1 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの 15 ヶ月間に実施されたもののうち、
下記のジャンルに該当すると思われるものをご推薦願います。

- 1) 「一般部門」
- ① 舞台、イベント（演劇、コンサート等）
 - ② 映像（映画、TV 番組、CM/VP、配信等）
 - ③ その他 ※

- 2) 「学生部門」 すべてのジャンル

※① ② 以外のジャンル（録音、ラジオ番組、機器類の開発・改良、関連著書の発表・出版等）
および長年後進の指導にあたり業界全般に大きく貢献された方をご推薦ください。

特に優れたものに対して「八幡賞」を贈呈します。「八幡賞」は特ラ連発足以来、業界発展のために尽力された故・八幡泰彦氏を顕彰して平成 25 年に設けられた賞です。

2. 候補の対象者 会員社（者）が原則ですが、会員外でも賞に値すると思われるものはご推薦ください。
3. 推薦方法 指定の候補推薦書に記載してください。
応募作品の台本、仕込み図などの資料、ポスター、チラシ、DVD・Blu-ray などの記録物があれば同封してください。審査終了後に返却いたします。
4. 推薦の締め切り 令和 4 年 3 月 31 日(木)
5. 推薦件数 一人一件とします。
6. 発表と表彰 令和 4 年 6 月開催の特定ラジオマイク運用調整機構通常総会の席上でおこないます。
7. 選考方法 ご推薦いただいた候補が少数、多数にかかわらず、特ラ機構技術賞選考委員会の公正な判断のもとに審査し授賞者を決定します。

※ご不明の点がございましたら特ラ機構事務局までお問い合わせください。

事務局便り



■当機構へ再免許申請（免許更新）をご依頼頂いた皆様へ

令和 4 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許申請（免許更新）を当機構へご依頼頂いた会員様につきまして、有効期間が延長された新しい免許状は、令和 4 年 5 月末までに運用ご担当へ郵送致します。 事務局免許担当／石川・渡辺きよたか

■令和 3 年度機構関係費用のお振込みをお願いいたします。

令和 3 年度決算期日（令和 4 年 3 月 31 日）が間近になりました。
毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。
未納の有無をご確認ください。機構の定款により、2 年以上の滞納金がある会員は総会議決を経て通知退会（除名）になり、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。



特ラ機構 SNS でも情報発信中！

☆ YouTube

チャンネルを開設しました。

動画を通して、技術的な情報、広報活動を更に解りやすくお伝えしていきます。

動画へのアクセスは

特ラ機構 YouTube

🔍 検索

☆ Twitter

リアルタイムなお知らせや連休などの営業情報をアップしていきます。

Twitter へのアクセスは

特ラ機構 Twitter

🔍 検索

どちらもフォロー頂ければ幸いです。

コメントなどご質問やご要望など頂ければ、お答えして参りますのでご活用下さい。

編集後記

寒い時期に食べたい料理は何ですか？私は簡単に作れて美味しい粕汁をよく作ります。

野菜をたくさん食べることができる粕汁は、健康や美容にも効果的です。

酒粕は、ビタミンやミネラル、タンパク質に加えて、必須アミノ酸なども含んでおり、栄養価の高い食材として知られています。お薦めはスーパーで手軽に購入できる八海山の酒粕ですが、各酒蔵で味が違うので酒



お薦めは八海山バラ



具だくさんの粕汁

蔵巡りをして酒粕を購入し、味比べしてみるのも楽しいです。使用する具材は地域によって様々で、例えば宮城ではキンキやメヌケなどの魚を使用し味は濃厚、京都では豚肉を使用し味噌は使用せずに酒粕だけで味付けをすることが多いようです。実家の粕汁は常に鮭を使っていましたが、母のルーツが東北（秋田県）だからだったのかと納得。日本の食文化は面白いですね♪（松崎）